

日本橋とやま館の館内 #01

日本橋とやま館では、随所にタテヤマスギ、ケヤキ、ナラなど県産の木材、井波彫刻をはじめ、城端しけ絹、五箇山和紙などの素材を取り入れ、富山らしい雰囲気表現しています。



このように、県産の木材や素材を活用した館内の「富山らしさを表現する木づかい」が評価され、2016年に林野庁後援のウッドデザイン賞を受賞しました。

また、館内には、富山県の人々が日々仰ぎ見てきた立山連峰の稜線や、雨晴海岸から見る海越しの立山連峰などの風景のデザインが配置されています。

是非館内をゆっくり巡りながら、富山の温もりをご体感ください。



日本橋とやま館のロゴデザイン #02

日本橋とやま館のロゴは、富山の“富”を“山”で包み込み“富山”そのものを表現しています。

富山の豊かな品々を両手で受け持つように囲み、ここ日本橋から皆様へお届けしたいという思いを、また、真上へ伸びるアンテナは首都圏に向けて情報を発信する気持ちを込めています。

日本橋とやま館10周年感謝祭の思い #03

10周年感謝祭の暖簾には、グリ、シロエビ、ホタルイカ、昆布、ます寿し、かまぼこ、日本酒、工芸品、チューリップなど、富山の魅力を感じられるモチーフを散りばめました。

3,000m級の立山連峰から水深1,000mの富山湾まで高低差4,000mが育む富山県の自然や食、歴史文化、伝統工芸、風土、人々の温かさに触れる、まるで富山県にいるようなデザインに仕上がっています。

100年企業に学ぶ 伝え続ける「本物の価値」 #04

「日本橋とやま館」が開館してからの10年の間にも、デジタル技術の進展などにより、人々の生活や働き方が多様化しました。

このような中で日本橋や富山で100年以上続く老舗企業は何を受け継ぎ、何を革新するのか。100年企業において、長い歳月の間受け継がれてきた技や人々の想い、「本物の価値」を学び、本年10周年を迎える日本橋とやま館のこれからの役割を考えます。

富山の自然、食、文化の豊かさを伝えて 日本橋とやま館10周年

日本橋とやま館は、首都圏と富山をつなぐ情報発信拠点として2016年6月4日にオープンしました。館内は、シヨップ、観光交流サロン、和食レストラン、バーラウンジ、企画展示やイベントを展開する交流スペースがあり、体験と交流を通じ、富山のライフスタイルの魅力を発信しています。



日本橋とやま館

営業時間

ショップフロア 10:30～19:00
観光交流サロン 11:30～14:30
和食レストラン 17:00～22:00(日・祝～21:00)
バーラウンジ 11:00～21:00
年中無休(年末年始、ビル施設点検日等を除く)
6月25日◎は休館いたします。

営業時間やイベント内容、商品の価格については変更となる場合があります。最新の情報については、日本橋とやま館の公式ホームページ・SNS等でご確認ください。

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル1階
ショップフロア(物販) 03-3516-3020
和食レストラン「富山はま作」03-3516-3011
その他(イベント等) 03-6262-2723

電車でのアクセス

東京メトロ
銀座線・半蔵門線「三越前」駅:
B5出口より徒歩すぐ
銀座線・東西線「日本橋」駅:
B9出口より徒歩3分

都営地下鉄
浅草線「日本橋」駅:
B9出口より徒歩3分

JR
総武本線「新日本橋」駅より
徒歩8分
「東京」駅より
徒歩8分

公式ホームページ



公式ホームページ更新中!
さまざまな情報を発信しています。

日本橋とやま館

公式SNS



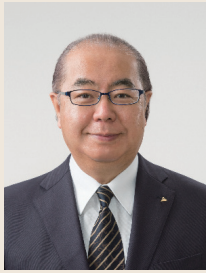
TAKE FREE
2026.6

とやまごころ

—日本橋とやま館たより—

あなたの知らない富山が誇るヒト・モノ・コトの魅力が見つかるフリーマガジン





富山県知事 新田 八朗

このたび、開館10周年を迎えることができましたことを、心から感謝申し上げます。この10年間、富山県の豊かな自然や食、文化、伝統・歴史の魅力を発信する拠点として、多くのお客様に愛顧いただきました。おかげをもちまして、今年4月には来館者数が250万人に達したところです。今後とも、『富山の日常』を伝え、本県の魅力を力強く発信しながら、多くの方にご来館いただくとともに、実際に富山県にもお越しただけのよう、関係の皆様と一体となって取り組んでまいります。

トヤマテーブル

みんなの想いをかさねて みんなで描く 富山の風景

5/29(金)~6/24(水)

雨の雫が、山々を潤し、大地に恵みをもたらし、海へと流れるように、あなたの「富山への想い」を込めたメッセージが、「立山連峰」と「富山湾」を描くインスタレーションです。皆様のメッセージをお寄せください。

バーラウンジ トヤマバー

富山の夏酒

キリッと冷えた夏酒は飲み口爽快で軽快なごし、暑い今の時期に適した一杯です。トヤマバーでは富山発の様々な夏酒の入荷を予定しております。



- 1,000円(税込)

日本橋とやま館は おかげさまで 10周年! これまでご愛顧いただいた 10年に感謝し、 100年企業を持つ 「本物の価値」を学び、 これからの10年の深化を 考える感謝祭を開催します。 5/29(金)~6/24(水)

トヤマバーdeナイト

富山の食や地酒を味わいながら、蔵元をお招きしお話を伺う人気の日本酒イベントです。 申込:詳しくは、日本橋とやま館公式ホームページをご覧ください。



ショップフロア

五箇山和紙手染めうちわ

富山県南砺市で、脈々と受け継がれてきた五箇山和紙。雲龍紙の自然な風合いを生かし、伝統的な型染めを施した千鳥型のうちわです。紙の中を流れる繊維が涼やかで、手にしたときの軽さと柔らかさも魅力で贈り物にもおすすめです。

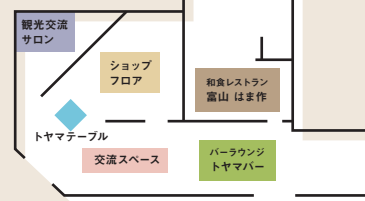


- 2,200円(税込)



6月の日本橋 とやま館情報

FLOOR MAP



交流スペース

※イベント最終日は18時まで

100年企業に学ぶ 伝え続ける「本物の価値」

5/29(金)~6/24(水)

100年という時を超えても、その力強い鼓動で地域を未来へと動かす企業があります。100年企業が伝え続ける「本物の価値」を学び、今こそ大事にしたい「人々の言葉、そして想い」を皆様とわかちあう特別展示です。

ポイント2倍キャンペーン

5/29(金)~6/24(水)

ショップフロアのお買物でポイントが2倍となるキャンペーンを実施します。まだポイントカードをお持ちでない方は、ぜひこの機会にご入会ください。

お楽しみ抽選会

5/29(金)~6/11(水)

日本橋とやま館でのお買い物やお食事、賞品があたるお楽しみ抽選会を実施します。

LINE新規お友だちキャンペーン

6/12(金)~6/24(水)

会期中、日本橋とやま館公式LINEアカウントに、新たにお友だち登録いただいた方に「富山の名水500ml」をプレゼントする特別キャンペーンを開催します! ※無くなり次第終了

和食レストラン 富山はま作

シロエビ入り刺身定食

富山湾のシロエビは、甘みが強く、身は柔らかく、口の中でとろけるような食感を味わえます。昆布じめや季節の魚など、ご飯と一緒に富山ならではの旬の食材をぜひ一度ご賞味ください。 ※状況により内容が変わる場合があります。



- 4,280円(税込)

館内スケジュール

Calendar table showing dates from 月1 to 火30 with event indicators for various activities like '富山の夏酒' and 'シロエビ入り刺身定食'.

6月25日(水)は休館いたします。

観光交流サロン

お気軽にお立ち寄りください

伝統工芸をしつらえた上質な空間で、コンシェルジュが富山県の観光情報等をご案内いたします。



観光案内所

十六代
小原 治五右衛門
城端蒔絵／漆藝家



富山の長い歴史に息づく自然の美と暮らしの価値に学びを深め、古の泉から新たな水が絶えず湧き出るように、時代に応じた発信とともに人と人のつながりが生まれる場として、さらなる発展を心より祈念申し上げます。

柴田 理恵
俳優



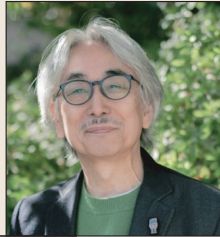
日本橋とやま館でふるさとを想う。「や～ん、これ売っとるぜ～、懐かしい～」 「あ～これ、久しぶりに食べたなっただわ～」人目も気にせず、つつい口からほとぼしる富山弁。美味しいものも懐かしいものも、富山の技術の粋を集めた全部がある。
私はちょっぴり心が寂しくなったとき、富山に包まれにここへ足を運ぶのです。

島谷 好徳
鍛金職人／
有限会社シマタニ昇龍工房 四代目
代表取締役



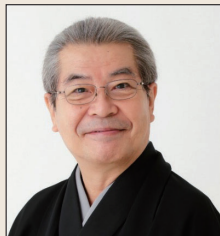
日本橋とやま館には当社の大きい磬子(けいす)を展示していただいています。本来仏具である磬子を花器に見立てて使用していただいたこともあります。
作り手をアツと驚かすような取組を積極的にいただき、伝統工芸に新たな可能性が生まれることを、期待しております。

桐山 登士樹



富山県総合デザインセンター所長／
富山県美術館 副館長
富山県はデザイン先進県であり、日本橋とやま館の店頭に並ぶ富山県のお土産プロジェクト「幸のこわけ」「美のこわけ」は、富山県総合デザインセンターがプロデュースしたブランドです。デザインの力で富山の魅力を高めていきたいと思えます。

立川 志の輔



落語家
日本橋とやま館は、驚くほど素晴らしい場所であるたびに感動させてくれます。
ふるさと富山の味であるます寿しが、日本橋とやま館ですぐに手に入り、大切な方々への楽屋見舞いや手土産として届けられることは大変ありがたいと感じています。

これからの 「日本橋とやま館」 へのメッセージ

首都圏や富山でご活躍される富山ゆかりの皆様からこれからの「日本橋とやま館」に期待するメッセージをいただきました。

能作 克治
高岡商工会議所 会頭／
株式会社能作 代表取締役会長



日本橋を渡ると目に入ってくる日本橋とやま館を毎回誇りに思っています。今後は富山を全国に発信する拠点としてだけでなく、食や工芸、文化を世界に発信する拠点としての役割を果たして欲しいと思います。今後のご発展をお祈りいたします。

室井 滋
女優・エッセイスト／
高志の国文学館 館長



日本橋とやま館には富山が恋しくなった時、富山を自慢しなくなった時、お世話になっています。また、文学館のPRやトークイベントなどで連携させていただいています。ここは東京の中の富山、ふるさとそのもの。これからも富山の魅力をず～っと伝えていってほしい。ホタルイカもシロエビも氷見牛も待ってっちゃ～♡

柘田 隆一郎



富山県酒造組合 会長／
株式会社柘田酒造店 5代目蔵元
コロナ禍や能登半島地震などの激動の10年の間、継続して富山の魅力を発信され感謝しております。ようやくTOYAMAという単語が海外の方々へも少しずつ浸透してきました。我々も海外からのゲストの視線に響くようなストーリーを身にまとい郷土の魅力の一端を担えるように日々精進してまいります。

山川 智嗣



建築家／
株式会社コラリアルチザンジャパン
代表取締役
日本橋とやま館には、富山の魅力を都市に発信するだけでなく、地域で挑戦を続けるつくり手や事業者と首都圏をつなぐ結節点としての役割を期待しています。
コラリアルチザンジャパンとしても、新たな出会いや協働が生まれる場になることを願っています。

(五十音順)



日本橋とやま館 10年の歩み

2016年6月4日に首都圏と富山をつなぐ情報発信拠点として開館した「日本橋とやま館」は、本年で10周年を迎えます。富山の日常の「上質なライスフタイル」を提供する拠点として、富山の豊かな自然、食、歴史文化、伝統工芸、風土、人々の暮らしなど、多彩な魅力を発信し続けています。

2015

3月14日
北陸新幹線が金沢まで開業し、富山と東京が約2時間で結ばれました。
6月
北陸新幹線の開業効果を持続・深化させ、富山県の新たな発展・飛躍につなげるため、首都圏で2店舗目となるアンテナショップの日本橋での開館を決定しました。



2017

8~9月
哀愁漂う三味線・胡弓の音色が響く「越中おわら節」と世界文化遺産五箇山合掌造り集落に伝わる「麦屋節」「こきりこ節」の踊りの披露や解説会を開催しました。
9月
日本橋三越本店で、富山の伝統工芸品の魅力を学び体験いただくイベント「モノで語る富山の技 富山の魅力展」が開催されました。日本橋地域での連携を一層深めました。



2019

10月
来館者100万人達成を記念し、日頃のご愛顧に感謝する記念セレモニーを行いました。
11月
伝統工芸である高岡銅器の匠の技術を紹介する「楽線市」を開催しました。身近なものから職人の技を魅せる作品まで広く紹介しました。



2021

6月
「立山信仰と自然の恵み」「祈りと癒し」をテーマに、立山信仰の世界観が描かれた立山曼荼羅や富山の霊獣「クタベ」、高岡銅器の仏頭を展示し、疾病平癒を祈りました。
8月
販路開拓サポートネットを立ち上げ、県内事業者に対する首都圏での販路開拓に関する情報提供などの支援の仕組みを作りました。



2023

6月
G7富山・金沢教育大臣会合の開催を契機とし、「富山の学び」をテーマに、富山県ゆかりの作家や作品を展示する高志の国文学館を紹介しました。
7月
2023年1月に富山県、石川県、静岡県、3県が「三霊山連携協定」を締結したことを契機とし、3県の首都圏アンテナショップが「日本三霊山展」を開催し、立山、白山、富士山などの雄大な自然、歴史、文化の魅力を紹介しました。



2025

1・4月
1月に米国・ニューヨークタイムズ紙の「2025年に行くべき52か所」に富山시가、続いて4月に米国・コンデナスト・トラベラーが選ぶ「世界の静かな場所50選」に南砺市井波が選定されました。これを契機とし、世界に誇る多彩な魅力を発信する企画展示やイベントを開催しました。
6月
「富山のすしはなぜ美味しい？」をテーマに富山の風土が育んできた食の魅力を紹介する企画展示やトークイベントを開催するなど、富山県のブランディング戦略「寿司といえば、富山」を広くPRしました。



新たな10年へ

復興に向けて

コロナ禍を乗り越えて

富山の魅力を発信

日本橋とやま館開館



2016

6月4日
江戸時代から人・物・情報の結節点として栄えてきた日本橋に、首都圏と富山をつなぐ情報発信拠点として「日本橋とやま館」が開館しました。
12月
館内の「富山らしさを表現する木づかい」が評価され、林野庁後援のウッドデザイン賞を受賞しました。

2018

1月
伝統工芸とチューリップをテーマに、国際的に活躍するクリエイターとコラボレーションしたインスタレーションを開催しました。
10月
富山米の新品種「富富富」の一斉販売を記念し、館内での試食販売や企画展示、特別メニューの提供など、「富富富デビューフェア」を行いました。日本橋三越本店でも「富山のおもてなしフェア」を開催し、各階レストランで「富富富」を提供しました。



2020

4月
新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を受け、オンラインイベント、ライブ配信、テイクアウトメニューの開発に取り組みました。人と人が集うことが難しい日々の中でも富山の魅力を感じていただく機会を創出しました。
8月
感染症対策に配慮しながら、富山湾の宝石「シロエビ」を多彩なメニューで提供する「シロエビづくしナイト」などのイベントを開催しました。



2022

6月
富山に愛着を持って関わるすべての人が自分らしく幸せに生きられるよう、「幸せ人口1000万〜ウェルビーイング先進地域、富山〜」をテーマに企画展示やイベントを開催しました。
11月
県内事業者と首都圏のバイヤーを繋ぐ「とやまの食の商談会」を開催し、首都圏における販路開拓に向けて支援しました。



2024

1月
令和6年能登半島地震では、富山県内でも最大震度5強の大きな揺れに見舞われました。震災からの復興に向け、県内で販売機会を失った商品や石川県能登地方の商品を販売し、多くのお客様にご購入いただくなどご支援をいただきました。
9月
県内でも特に大きな被害を受けた氷見市から(株)高澤酒造場、(有)柿太水産の代表を招き、被災状況や復興に向けた取り組みをお聞きしました。



2026

4月
来館者250万人達成を記念し、日頃のご愛顧に感謝する記念セレモニーを行いました。
6月4日
首都圏と富山をつなぐ情報発信拠点として開館した「日本橋とやま館」は、開館10周年の節目を迎えました。これまでの10年間のご愛顧に心から感謝し、これからの新しい「日本橋とやま館」の役割について皆様と一緒に考え、歩んでまいります。

